

日本側弯症学会第10回研修セミナーベーシックコースプログラム

平成24年6月16日(土) AM8:30-PM5:45

会場がかわりました。

会場：大正製薬(株)名古屋支店8階ホール〈名古屋市千種区千種2-17-18〉

主催：日本側弯症学会 研修委員会 受講料：職種を問わず15,000円

講師(卒後研修委員)：川上紀明(委員長・名城病院)、伊東 学(北海道大学)、宇野耕吉(神戸医療センター)、清水敬親(群馬脊椎脊髄病センター)、瀬本喜啓(今津病院)、竹下克志(東京大学)、長谷川和宏(新潟脊椎外科センター)、柳田晴久(福岡市立こども病院)

招待講師：町田正文(国立病院機構 村山医療センター)

講義内容

1. はじめに-側弯症とは：側弯の定義、概念、分類など
2. 側弯の原因：側弯の遺伝以外の研究内容と現在までわかっていること、側弯と遺伝、欧米で研究されて報告された内容
3. 正常児の成長：Demeglioの研究内容の紹介(側弯の悪化がなぜ思春期に生じるか)
4. 側弯症の自然経過、主に特発性側弯症の自然経過
5. 診察の見方と注意点：基本的な診察方法、神経所見とその異常の意味について
6. 側弯のX線診断所見とその見方：単純写真の見方とその測定誤差、側面画像の問題点、被爆について
7. CTとMRI：いつ、どのような撮像方法でとるか、その必要性和臨床的意義、何に注意するか
8. 側弯症の症状、側弯によって引き起こされる呼吸障害以外の症状
9. 側弯によって引き起こされる呼吸障害、拘束性喚起障害、閉塞性喚起障害の特徴、胸郭不全症候群
10. 学校検診と医師の関与：学校検診の現状と問題点、モアレ法とその他の検査
11. 側弯症診察における問題点：高度側弯がなぜ放置されるか？
12. 側弯治療の紹介：保存的治療の紹介、手術についての一般論
13. 【特別講演】メラトニンと側弯症
14. 装具治療：装具治療の理論、いつどのような装具をどのように使用するか、その効果は
15. 装具の採型のワークショップ
16. 側弯症の治療方針の決定 ①特発性側弯症 ②症候性側弯症(Recklinghausen病、Marfan症候群、Chiari奇形と脊髄空洞症、神経筋原性側弯) ③先天性側弯症 ④二分脊椎と脊髄の異常 ⑤成人側弯症 ⑥変性側弯症(変性後弯を含む)
17. 総合討論
 - (ア) Panel discussion 初診時の症例をどのように扱うか：装具、経過観察、手術など
 - (イ) 症例検討と側弯治療における現場からの問題点：初期治療の問題からトラブルとなり、治療が困難または成績不良になった数症例の検討

* 日本整形外科学会教育研修単位3単位、日本リハビリテーション医学会5単位が取得可能です。

* 上記予定は変更されることがあります。 * 懇親会：セミナー終了後、講師を交えて懇親会をおこないます。

日本側弯症学会 研修委員会委員長 名城病院 川上紀明

■■お問合せ・申込先：日本側弯症学会事務局(〒260-0021 千葉市中央区新宿 2-3-18-605 ■■

ソーテリア内 Tel043-306-3391 Fax043-306-3381 E-mail: JSS@soteria.cc)